

今年で4年目になり、すっかり定着した猿ヶ京高原千葉村での夏合宿(夏合宿としては11回目)の概要報告です。今年には日本列島襲ったトリプル台風の影響はありましたが、参加人数17名で秋を感じる高原と快晴の新潟(魚沼)を楽しみました。拙文ですが次回参加者のご参考と致します。

1. 日時、場所：2016. 8. 27～29 猿ヶ京 高原千葉村
2. 参加者：奥原(40C)、浅海(41S)、岩下(41W)、大島(41C)、木村(修 45C)、草場(修 45E)、松田(45L)、齋藤(47M)、太田(博)(47L)、海老原(48E)、鎌田(48M)、山口(48M)、海老沼(49K)、渡辺(50M)、須永(51M)、馬坂(修 52P)、大田(稔)(56J) 以上計：17名

3. トピックス

- ・今年最大のトピックは、従来参加者の平均年齢より約10歳若い太田さん(56J)の蕎麦大会に続く参加です。同期の村田さんも初参加の予定だったのですが、急な体調不良で残念でした。
- ・高原千葉村は以前にも紹介してありますが、研修室、温泉、ウォッシュレットタイプのトイレ等を完備した快適な施設で、例年4名収容のログハウスを数棟貸し切っています。
- ・この行事の主目的(?)である“ふれあいトーク”では、齋藤さんに出生地藤岡の平井城にまつわる時代考証と関連の歴史紹介をして頂きました。講師の山と酒以外の意外な教養に一同、見識を改めました。
- ・行事副目的(?)である豪華なBBQと酒宴では、昨年比5割増しの生ビールの他、日本酒も多量消化でした。
- ・合宿2日目は小雨の為、三国山を諦めて新潟小出の永林寺に日本のミケランジェロの異名を取る石川雲蝶の彫刻拝観に行きました。台風の風と雨は谷川連峰で遮られ越後晴の中、越後三山を初め多くの懐かしい連山を眺望し、前日の歴史講話でも紹介された坂戸城の城跡で昼食を摂りました。一部メンバは坂戸山中腹の展望台まで、腹ごなしと称してその後のビールに備えて汗を流しました。



4. 今後の予定

- ・今秋(10/29-30)には、八ヶ岳秋合宿を計画しています。詳細は別途案内致しますが、各位ご予約下さい。
- ・別途、蕎麦の種まき・刈り取り・脱穀等の作業案内もしますので、たくさんの方々のご参加をお待ちします。